

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
1	金 城 敏 雄 (自 民 党)	1 動物愛護行政について	動物愛護週間が、平成 28 年 9 月 20 日(火)から 26 日(月)まで(7日間)となっている これもまた、城間幹子市長の公約にある。犬猫殺処分ゼロを目指す動物愛護施策を伺う ① 中核市としての動物愛護に関する条例はあるか ② 那覇市の(仮称)動物愛護センター、サポートセンターの設置計画事業の取り組み(現状)について ③ 愛護団体などと、どのように連携を図っているか
		2 自治会の加入率について	自治会の加入率が減少している。活力ある協働によるまちづくりのためにも、行政は、なぜ加入しないかを考える必要があるのではないか 自治会加入促進月間、アンケート実施など考えているか
		3 保育行政について	保育士の増員と処遇改善を 保育士不足を解消するため正規保育士の採用を増やすべきではないか また、嘱託保育士の労働条件も改善が必要と考えるが市の見解を伺う

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		4 文化財行政について	文化財の調査について伺う 市指定文化財、基準、選定のあり方、史跡がなぜ普通財産か、市指定文化財の条件等(佐藤惣之助の詩碑はどう考えているか)
		5 小・中学生 自転車の安全 教育について	道路交通法改正に伴い自転車の交通違反の罰則が強化された 改正内容を踏まえた教育が必要と考えるが、現状や方法について伺う
		6 福祉行政について	(仮称)那覇市子どものみらい応援プロジェクト推進基金条例制度について伺う 基金の種類、基金の処分等、予算規模、運用方法の考え方
		7 空き家対策について	空き家の適正管理と有効活用の推進を ① 条例制定について(実態の把握、調査は) ② 空き家対策推進特別措置法について
			【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

一般質問（２日目） 平成 28 年 9 月 29 日(木)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
2	上 原 快 佐 (社社市民ネット) 質問方式 一問一答方式 (演壇・質問席)	1 こども食堂 について	(1) 本市におけるこども食堂の状況について 伺う (2) 今後の支援体制及び課題について伺う
		2 教育行政及 び児童福祉行 政について	(1) 本市における高校卒業後の進路状況につ いて伺う (2) 本市における利用可能な給付型奨学金 制度の概況及び利用状況について伺う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

一般質問（２日目） 平成 28 年 9 月 29 日(木)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
3	我如古 一郎 (日本共産党) 質問方式 一問一答方式 (質問席のみ)	1 子どもの貧困問題と社会的背景について	(1) OECD発表の子どもの貧困率の推移(1985年と2012年比)、そのうちひとり親世帯の貧困率と先進国の中での順位を問う (2) 厚労省調査における等価可処分所得の推移は、正規雇用と非正規雇用の労働者の就労実態と子どもの貧困率と密接な関係が明らかである。見解を問う また、稼働所得の割合(賃金依存率)を問う (3) 女性だけを見れば正規の賃金、非正規の賃金はどのようにになっているか。見解を問う (4) OECD加盟国では、半数の国で大学の学費が無料である。さらに多くの国で給付型の奨学金制度を設けている。教育への公的支出の占める割合が日本は最下位といわれている。学費は高いのに給付型の奨学金制度がないのは先進国では日本だけではないか (5) 相対的貧困率とは何か。日本における貧困の定義を問う (6) NHK番組で発言した高校生への貧困たたきは、相対的貧困への理解が不足している現実をあらわにしていると思う。見解を問う

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		2 墓地行政について	(1) 墓地について那覇市環境計画(第2次)、那覇市墓地整備方針における位置づけ及び墓地、墳墓の状況を問う。また将来的な識名霊園の整備方針を問う (2) 清明祭などにおける草木ゴミの回収、ごみの不法投棄問題に対する、今後の対応を問う
		3 交通行政について	真和志地域乗合タクシー実証実験について、概要を問う
		4 農業行政について	本市のハーブ農家が抱えている問題と課題について問う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、関係部長

一般質問（２日目） 平成 28 年 9 月 29 日(木)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
4	翁 長 大 輔 (日本共産党) 質問方式 一問一答方式 (質問席のみ)	1 本市の情報通信産業振興について 2 公用車の安全対策について	沖縄スマートハブ構想は、アクションプラン 2 に移行している。情報通信関連産業の生産額を、構想では 5,800 億円。雇用は 5 万 5,000 人と想定している。観光産業に次ぐ産業力をどう本市に導入するか計画を早急に立てるべきである (1) 情報通信産業における雇用形態の現状を問う (2) 沖縄スマートハブ構想の概要を問う (3) 構想を踏まえ本市が取り組むべき課題を問う (4) 那覇市独自の計画の策定を行うべきである。見解を問う 職員の安全運転に対する意識の向上を図り、万が一の事故の際、現場の記録として重要なドライブレコーダの装着を進めるべきである (1) 公用車に関わった自損事故を含める事故件数を問う (2) 現在本市が抱える公用車の台数とドライブレコーダ装着台数を問う (3) 公用車へのドライブレコーダ装着に伴うメリット・デメリットを問う

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		3 2020 年夏季 オリンピック について	(1) 2020 年東京で開催される夏季オリンピックでは、沖縄の伝統である空手が五輪種目に制定された 東京オリンピック空手沖縄開催誘致実行委員会が提出した「要望書」の見解を問う (2) 那覇市も県と連携し、要望書の実現に向けて積極的にかかわるべきである。見解を問う 【答弁を求める者】 市長、副市長、関係部長

一般質問（２日目） 平成 28 年 9 月 29 日(木)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
5	屋 良 栄 作 (なはの翼 【無所属G】) 質問方式 一問一答方式 (質問席のみ)	1 那覇軍港について 2 泊魚市場移転問題について 3 防災啓発劇について	(1) S A C Oの合意について、本市の見解は変わらないか (2) 本市は関係団体(当事者)の一人であるが、進捗状況はどうなっているか (3) 市長はこの長年の課題解決に向けて、どのように取り組んでいく所存か伺う (1) 関係団体の意向はどうなっているか (2) 本市の対応を伺う 子どもから大人までわかりやすく、防災について考えるため、防災をテーマにした啓発劇の上演を提案したい。見解を伺う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、関係部長

一般質問（２日目） 平成 28 年 9 月 29 日(木)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
6	宮平 のり子 (社社市民ネット)	1 子ども行政 について	待機児童解消のために、これまでに市から示されたことについて、また新生児聴覚検査の有無について問う (1) 泊幼稚園跡地について 東京の学校法人・・・70～80 人 泊保育所跡地について 市内の社会福祉法人・・・70～80 人 とされているが、現在どのような見通しか (2) 2015 年度保育所の新設・分園について 390 人については、どのような結果になっているか (3) 2016 年度 7 カ所の保育所創設、780 人 2016 年度認可外の認可化 2 園、125 人 2016 年度事業所内保育 3 施設、95 人 合計 1,000 人の見通しはどのようになっているか (4) 新生児は 1,000 人に 1 人の割合で聴覚に何らかの障害をもって生まれてくる。発見の遅れは言語や発達の遅れにつながる。その対策として那覇市の乳児健診の実態はどのようになっているか
		2 生保受給者の 奨学金返還 について	(1) 那覇市の生活保護受給者でもある母子家庭の娘 2 人が、公立高校に通うために借りた貸与型奨学金を「収入」と認定し生活保護費の返還を求めていることについて、伺う (2) 厚生労働省の生活保護法の運用ルールの見直し通知（昨年 5 月、学習塾などの費用を奨学金やアルバイトで捻出する場合収入認定しない）についてどのような認識か

質問方式
総括質問方式
(演壇・質問席)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		3 無届有料老人ホーム等について 4 子ども医療費現物給付について	(1) 那覇市の無届有料老人ホームの件数、入所者は何人か。市の対策について伺う (2) 療養病床、特別養護老人ホーム、養護老人ホームの本市の現状について伺う 子どもの医療費の窓口支払いをなくす現物給付については、子どもの貧困率全国の2倍になっている沖縄では特に待たれる子ども支援である (1) これまでどのように国、県に働きかけをしてきたか (2) 現物給付実施の際、国保の国庫負担金を減額するペナルティーについて今後の見通しはどうか
			【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

一般質問（２日目） 平成 28 年 9 月 29 日(木)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
7	平 良 仁 一 (新 風 会)	1 道路行政について	(1) 市道鏡原小祿線及び鏡原 20 号の交通渋滞緩和対策である左折専用車線増設について ① 車線増設に当たりどのような課題があるのか伺う ② 現在の取り組み状況を伺う ③ 車線増設に向けた整備スケジュールを伺う (2) 市道小祿 88 号整備の取り組み状況について ① 市道整備に当たり地域自治会の意見を反映させるとのことだが、これまでの取り組み状況を伺う ② 今後の整備スケジュールを伺う
		2 農業政策について	(1) ハーブ生産の現状及びバジルベト病の被害状況について伺う (2) バジルベト病とはどういう病気か、またその対策を伺う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、関係部長

一般質問（２日目） 平成 28 年 9 月 29 日(木)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
8	中 村 圭 介 (無所属の会) 質問方式 一問一答方式 (質問席のみ)	1 第一牧志公 設市場再整備 について	(1) 市場及び周辺事業者検討委員会について 問う (2) 外部検討委員会で出た提案の取り扱いに ついて問う (3) 仮市場の整備に向けた協議はどのように 行うのか問う (4) 9月7日に行われた市民説明会の概要と そこで出た質問への返答はどのように行う 予定か問う (5) 第一牧志公設市場再整備事業に伴う昨年 度実施したマーケティング調査結果につい て問う
		2 那覇市観光 協会について	会員数の推移及び今後の観光協会の方向性に ついて問う
		3 子ども行政 について	(1) 要保護児童対策地域協議会の個別ケース 検討会議の開催状況について問う (2) 家庭相談員について問う (3) 民生委員との連携について問う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、関係部長

一般質問（２日目） 平成 28 年 9 月 29 日(木)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
9	湧 川 朝 渉 (日本共産党)	1 介護保険について	(1) 2017 年度から始まる、介護予防・日常生活支援総合事業について、目的と対応を問う (2) 特別養護老人ホームの待機状況とその対応について問う (3) 第 7 次なは高齢者プランについて、取り組みを問う
		2 那覇市中期財政計画について	下記の事項について、2008 年度と 2015 年度の比較を問う (1) 那覇市の歳入・地方税の額 (2) 那覇市の決算の実質収支額 (3) 財政健全化の指標(実質公債費比率、将来負担比率)の推移 (4) 那覇市の基金残高額 (5) 那覇市の市債残高額
		3 子どもの教育環境について	子どもたちの教育環境を充実させるためにも、義務教育の充実のために、教職員は正規教職員にすべき。当局の見解を問う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

質問方式

一問一答方式
(質問席のみ)

一般質問（２日目） 平成 28 年 9 月 29 日(木)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
10	古 堅 茂 治 (日本共産党)	1 米軍基地問題について	(1) 9 月 16 日福岡高裁那覇支部は、辺野古埋め立て承認を取り消した翁長知事を国が訴えた「違法確認」訴訟で、知事が承認取り消しの撤回に応じないのは違法だとする不当判決を出した。翁長知事は、判決を不服として 23 日上告した。市長の見解を問う (2) 米空軍嘉手納基地を飛び立った A V 8 ハリアー戦闘攻撃機が国頭村辺戸岬の東 153 キロ沖の好漁場に墜落した 県内では、1972 年の日本復帰から同機の事故は 19 回、2015 年 12 月までの 43 年間に米軍機の墜落事故は 46 件発生している。一步間違えば、人命、財産に関わる重大事故になりかねない。見解を問う
		2 L G B T など性の多様性について	(1) 「性の多様性を尊重する都市・なは」(レインボーなは宣言)の特徴について問う (2) 7 月 7 日、第 4 回ピンクドット沖縄の会場にて、登録第 1 号カップルへ登録証明書を交付した。登録証明書の特徴、登録状況を問う (3) 今後の取り組み、課題を問う
		3 文化行政について	2009 年 2 月 12 日に国指定記念物・名勝に指定された伊江御殿別邸庭園の保存整備状況と活用計画を問う
		4 経済振興施策について	昨年の 9 月に「沖縄県アジア経済戦略構想」が策定され、それを推進する「沖縄県アジア経済戦略構想推進計画」も今年の 3 月に策定された那覇市の役割・課題を問う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長